

明日に向かって

ともに創る

⑦③

大船渡市長 戸田公明

気仙2市1町の連携をさらに強めるため

市民の皆さんもご存知の通り、気仙2市1町ではさまざまな分野において連携の取り組みを進めています。それらの一例を挙げますと次のようになります。

- ・気仙広域連合（衛生処理、介護度認定、特産品販売、児童生徒英語サマースクール、対県要望など）
- ・気仙広域環境未来都市【医療・介護のICT（情報通信技術）連携未来かなえ機構運営支援】
- ・公共施設の相互利用受け入れ
- ・気仙地区議会協議会【要望活動、ILC（国際リニアコライダー）誘致促進活動】

さらには、大船渡地区消防組合（1市1町）、大船渡地区環境衛生組合（1市1町）のよ

うな2自治体による共同事業などもあります。

さて、今後、高齢化が数十年間にわたって進行する中、自治体経営をより合理的・効率的に進めるための国の制度は数多くありますが、地域連携をより一層推進するための施策があります。それは総務省が推進している「定住自立圏構想」です。

「定住自立圏構想」は、生活・経済面で関わりの深い周辺の自治体間で、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネージメント能力の強化」に関する連携事業を行うことにより、国から財政支援措置を受けて、自治体経営に役立てることができるとされています。ただしそこには条件があります。それは少なくとも1自治体は次の条件

を満たすことなどです。

- ・人口が5万人程度（少なくとも4万人超）以上であること
- ・昼間人口が夜間人口を上回っていること

本市は、昼間人口が夜間人口を上回っており、人口は約3万8千人ですが、制度の経過措置により、人口要件が平成22年度の国勢調査で4万人以上であった都市にも適用されることとなり、該当します。

「定住自立圏構想」は、合意した連携内容について、議会の同意を得て協定を締結するというものです。また、議会の同意を得て解消することも可能な仕組みになっています。このようにフレキシブルで緩い連携ではありますが、取り組み内容と数によっては地域経営と行政の効率がより向上し、住民サービスに資することが期待できます。

現在、「定住自立圏構想」に取り組んでいくと決まったわけではありませんが、気仙2市1町がさらに連携を強化するために、今後、陸前高田市・住田町と検討に向けた協議を重ねていく段階に入ったということをご報告します。

市民講座 「知っておきたい整理収納術」 ～参加者募集～

片付けてもすぐに元通り…。そこにはきちんとした理由があります。「片付けられない！」を克服した講師が、自身の経験をもとに「誰でも明日からすぐにでもできる快適な環境への第一歩」をお伝えする講座を2回開催します。お気軽にご参加ください。

▷ 期日・テーマ

- ・第1回＝3月17日（土）
～なぜ？どこから？どうしたらいいの？～
「すっきり解決！お片付けワークショップ」
 - ・第2回＝3月24日（土）
～スキルUPで仕事効率UP！～
「デスク・書類の整理収納」
- ※どちらか1回だけの参加でも構いません。

- ▷ 時間＝午後1時30分～3時30分
- ▷ 会場＝カメラホール
- ▷ 対象＝どなたでも
- ▷ 講師＝金田玲子さん



（整理収納アドバイザー、北上市在住）

- ▷ 受講料＝無料
- ▷ 定員＝各回30人
- ▷ 持参するもの＝筆記用具
- ▷ 申込方法＝①住所②氏名③連絡先を、電話またはファクスでご連絡ください。
- ▷ 申込期間＝3月8日（木）から
※定員になり次第締め切り
- ▷ 申込先／問い合わせ先
中央公民館（☎②63166／FAX②65903）

